

展示「明治の博覧会」

平成 21 年 4 月 15 日～5 月 15 日



「ウィーン万国博覧会出品の件について達」
明治 5 年(1872 年)

明治政府が初めて参加した万国博覧会は、オーストリアで開催されたウィーン万国博覧会であった。左の文書は万国博覧会に出品するための物を募集するものである。「御国品之名聞を海外に弘メ兼而各自之利益を計り候様可心得」とある。



「パリ万国博覧会諸規則」
明治 10 年(1877 年)

明治 11 年(1878 年)に開催されるパリ万国博覧会への出品に際して内務省から布達された諸規則のうち、「出品者心得」の部分。

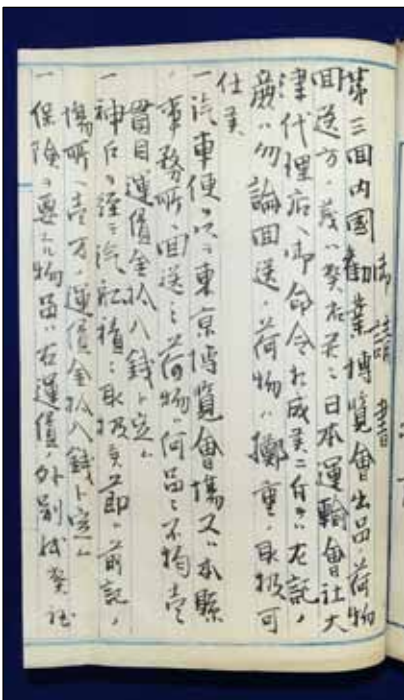
職人に注文して作成させた物品や、日本の名産品を買い集めて出品しようとする者の「最も大切なる心得方」について記されている。



「明治十年内国勸業博覧会出品者心得」

明治 10 年 (1877 年)

万国博覧会への参加後、政府は明治 10 年に第 1 回内国勸業博覧会を東京の上野公園で開催した。上の文書は出品者への心得書である。内国勸業博覧会開催の目的は殖産興業であるため、政府は書画や古代の遺物などの出品を禁止した。また、「片田舎の村々^{など}杯の産物」であっても「追々繁盛に致^{いたした}度き見込あるもの」は、ありきたりの物でも差し出すよう指示している。



「内国勸業博覧会出品の荷物回送について
請書」

明治 23 年 (1890 年)

第 3 回内国勸業博覧会へ出品する荷物の輸送を請け負った会社の請書 (承諾書)

日本運輸会社と内国通運会社が請け負っている。荷物は汽車か汽船 (神戸から横浜) によって東京まで運ばれた。

「滋賀県下出品表」

(明治10年(1877年))

第1回内国勸業博覧会への出品物の一覧表。「吸角」や「銚子」など、絵図が添付されているものもある。他にも「鎌」や「山刀」など、日用品も出品されている。

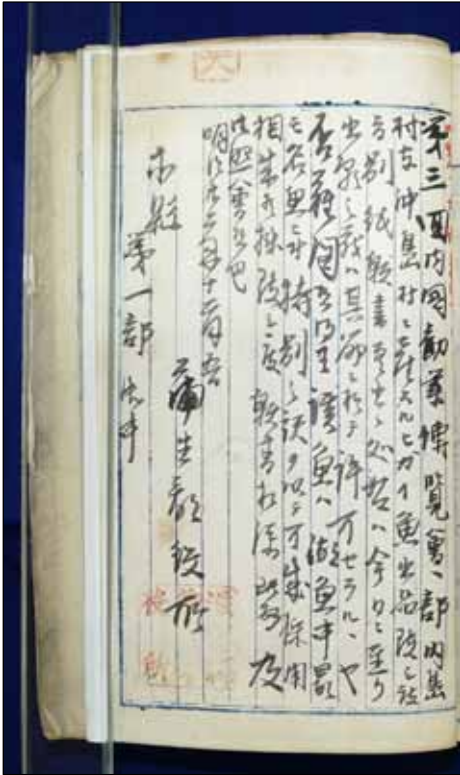
吸角	銚子	五ッ入子	鶴釣燭臺	盃洗	中形湯沸	置物	大鋤	中鋤	小鋤	毛鋸	瓶鉄
壹個	壹個	壹組	壹個	壹個	拾個	壹個	三根	三根	三根	一板	二板
百日	百廿五日	二百廿五日	三百廿五日	三百目	壹貫目	高七寸 壹寸二寸	長一尺二寸 幅四寸	長一尺二寸 幅四寸	長七寸 幅三寸	長七寸 幅五寸	長六寸 幅三寸
地真鍮 製別紙一号 佐國 出	地銅別紙二号 佐國 出	地銅中 他ノ三品ヲ定メテ	地真鍮 燭臺 金 壹寸四寸	地真鍮 別紙 壹号 出 國	地真鍮 別紙 壹号 出 國	水ッ吐カレム	地真鍮 カルハ 別紙 壹号 出 國	地真鍮 カルハ 別紙 壹号 出 國	地真鍮 カルハ 別紙 壹号 出 國	地真鍮 カルハ 別紙 壹号 出 國	地真鍮 カルハ 別紙 壹号 出 國
口	口	口	口	口	口	口	口	口	口	口	口



「鶴釣燭臺」
添付の絵図



「銚子」
添付の絵図

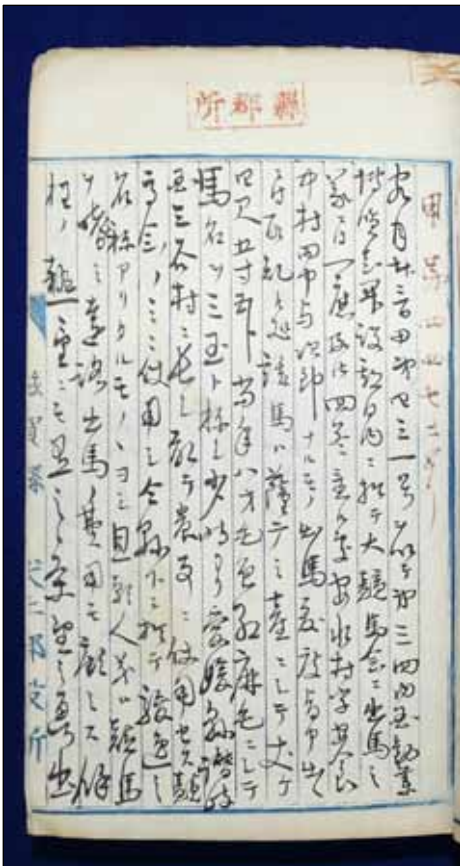


「内国勸業博覧会へヒガイ出品について照会」

明治22年(1889年)

第3回内国勸業博覧会へ、「ヒガイ魚」を出品
したいと蒲生郡役所が滋賀県に出願している。

ヒガイ
鯿は「湖魚中最モ名魚」なので、なるべく採
用してほしいとの旨が記されている。なお、こ
の件は許可された。



「臨時大競馬会へ^{はひつ}馬匹出馬方について回答」

明治22年(1889年)

第3回内国勸業博覧会では、東京上野不忍池
の畔にあった競馬場で「臨時大競馬会」が開
催された。競馬開催の目的は馬の優劣を審判
し、馬種の改良を奨励することである。滋賀
県では犬上郡安水村(現彦根市)の人物から
出馬の希望があった。

全	全	全	全	全	全	全	全
第六部	裁縫	習字、植物標本	大麥、菓種	作文、四画、習字	四画、作文、習字	魚鱗、竹、地圖、解	新酢
石灰	滋賀郡大津町、 高島郡海津村、	滋賀郡大津町、 高島郡海津村、	野洲郡北里村、	同	同	滋賀郡大津町、 滋賀郡大津町、	同郡勝所村、 高島郡百瀬村、
二等有功賞	三等有功賞	褒状	計				
十人	四十六人	百七十八人	二百三十四人				

「第3回内国勸業博覧会受賞者名簿」 (明治23年(1890年))

内国勸業博覧会での滋賀県分の受賞者名簿。賞の種類には名誉・進歩・妙技・有功・協賛賞の各賞と褒状があり、各賞にはさらに1等から3等の位があった。滋賀県からは総計1,811人から2,768点の出品があり、この内、有功賞の2等・3等と褒状を計234人が受賞した。